おてらのけいだいにせいそくするむしのけはいをかんじて みずから こがいにでる

1

- 2 けいかくのいとをしらせる おとうとはすこやかにそだったがみごとにごうじょうだ
- 3 じゅんびうんどうでじょうたいをそらす じなんにあつい まなざしをそそぐ
- 4 きわだって さいのうがあるひとがじどうをいんそつすることにむごんでしたがう
- (5) たなばたのゆらいをでんごんし、したしみのあるてんねんのちくりんをめざし かせんにむかう
- 6 もっと**ほんね**でゆうれいの**しょうたい**について**はなしあおう。しだい**に**ほんしつ**がみえてくるよ。
- 7 れいせいにじたいをみまもるひとはだれもがいちもくおくひとだ。
- 8 きょくちてきにおおあめが降り、いひょうをつかれたが、 かんぱが去り、さむさがやわらいだ
- 9 うみべのみんしゅくでえてとするてんもんがくについてまなび、おがわでてんたい観測する
- 10 おおくのけらいのこころないしわざに鬼のぎょうそうで、ちまなこになってはんにんをさがす
- (11) せけんでうわさのなまいきなくちをきく にんぎょうはこんりんざい かわない
- 12 そぼ じきでんのりょうりはすでであずきとくだものをつかって あじをととのえる
- 13 しょうがっこうじだいをかえりみる じきひつのてがみはくとうてんがしっかりかかれている
- 14) やまがゆうひにはえる ばしょできせいきゃくがうむもいわせない たいどにでる
- **1**5 しごとののうりつをあげるために、 むだをはぶき、 やさしいくちょうではなす